

破天荒

教宣部

5097号

2021年
6月15日化学一般京滋地本
全竹中労働組合

昨日は夏季一時金回答指定日団交でした。新型コロナウイルスの影響で売上が伸びず苦しい状況が続いていましたが、半導体関連の受注が伸びて何とか回答できたとの報告がありました。

電子の状況

昨年の10月頃から受注の改善の兆しが見えてきたが、1月の緊急事態宣言により厳しい状況が続いていた。年初から海外の売上がアップ2月後半から上昇し3月に大きな利益となった。国内では新型コロナウイルスにより営業の訪問自粛・与信不安の拡大・設備投資の中止や延期等苦しい状況が続いた。2月中旬から半導体設備関連が急激に活気を呈し3月の売上拡大となった。

システムの状況

目標予算の達成率が93%、経費節減により黒字となった。産業用カメラ・検査機の設備投資で黒字に繋げたいが、新型コロナウイルスの影響・大型物件の有無で業績も変化するので先行きが見えない。

会社の主張

電子では売上が前年同期ではマイナス、製造原価や内部経費の削減で経常利益をアップさせ、システムでは売上を大幅にアップしてそれなりの回答ができた。コロナ禍で苦しい状況は続きますが何とぞご理解を頂き協力をお願いします。

組合の主張

私たちの要求した二、六ヶ月より低い額ですが、売上状況からそれなりの回答であることは理解できます。しかし会社の説明は経営状況ばかりです。次回は一時金にこめた気持ちやモチベーションを聞きたいと思っています。

夏季一時金 2次団交
6月22日(火) 四ノ宮食堂

